

図1 位置図

(2 事業概要①所在地)

阿倍野区阿倍野筋2丁目～阿倍野区阿倍野筋3丁目

対象事業 位置図

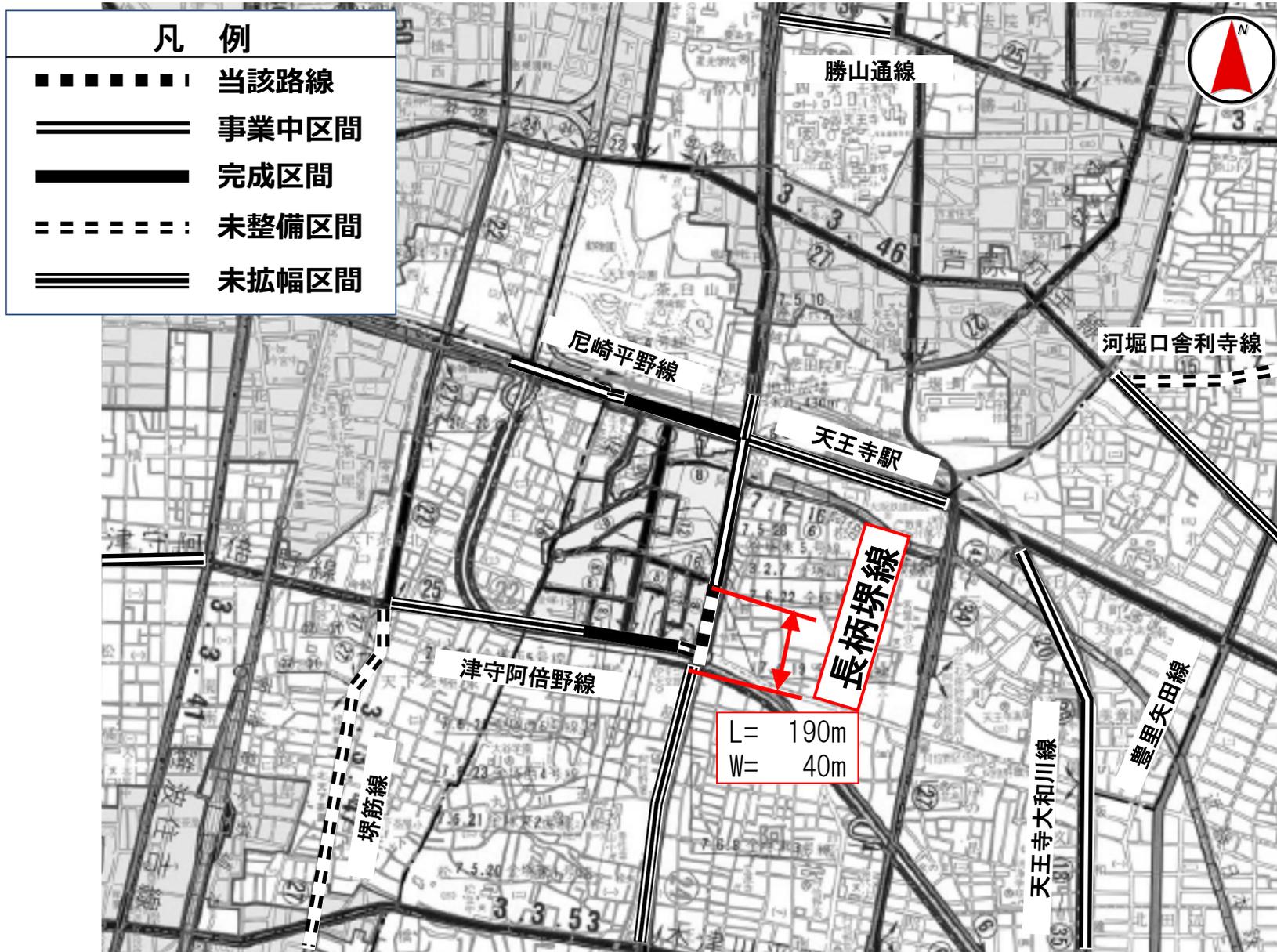


図2 費用便益分析の概要

(3事業の必要性の視点 ③費用便益分析)

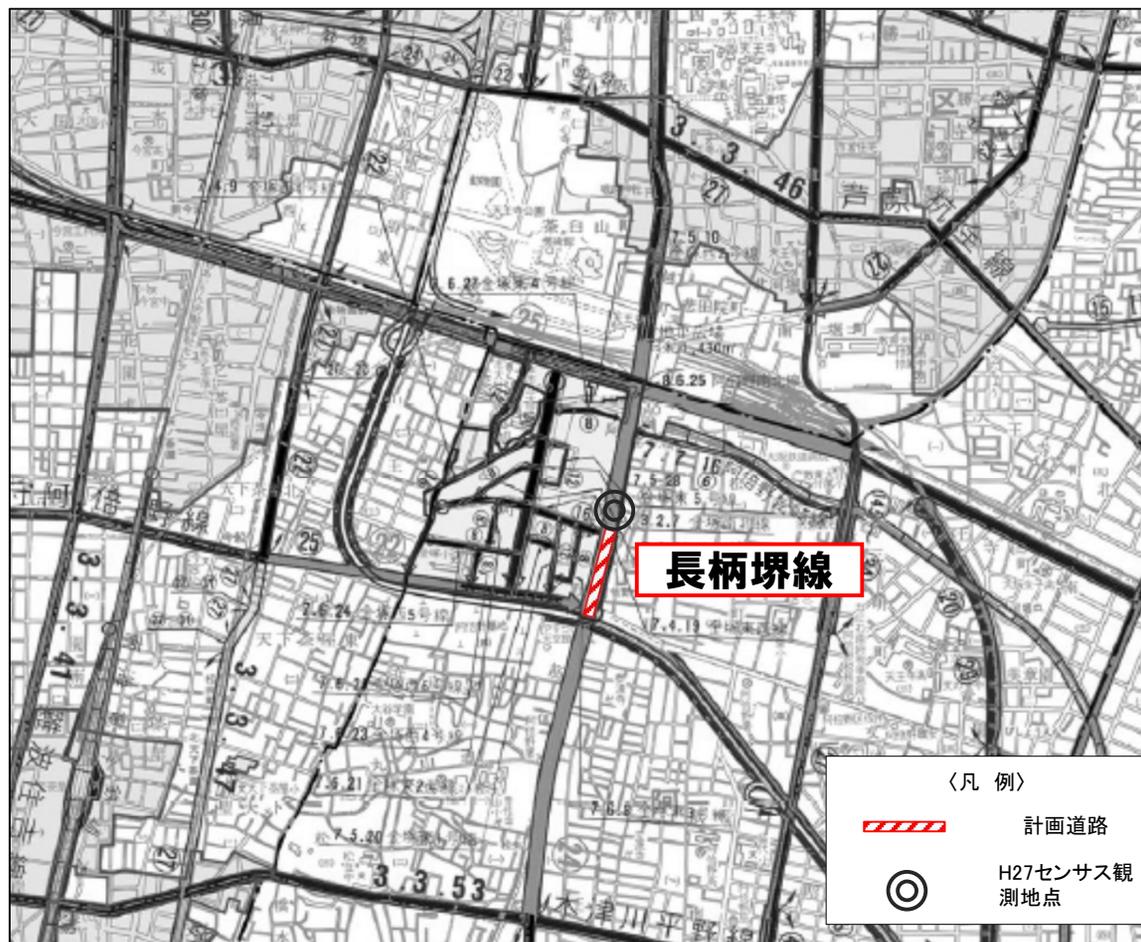
便益 (単位：億円)

走行時間短縮	0.3
交通経費減少	0.0
走行事故減少	0.0
歩行の安全性 ・快適性の向上	1.5
合計 (初年便益)	1.8
便益総額の 現在価値	33.0

費用 (単位：億円)

事業費 (単純合計)	12.7
維持管理費 (単純合計)	1.1
投資総額の 現在価値	14.1

社会費用便益比 (B/C)	2.34
------------------	------

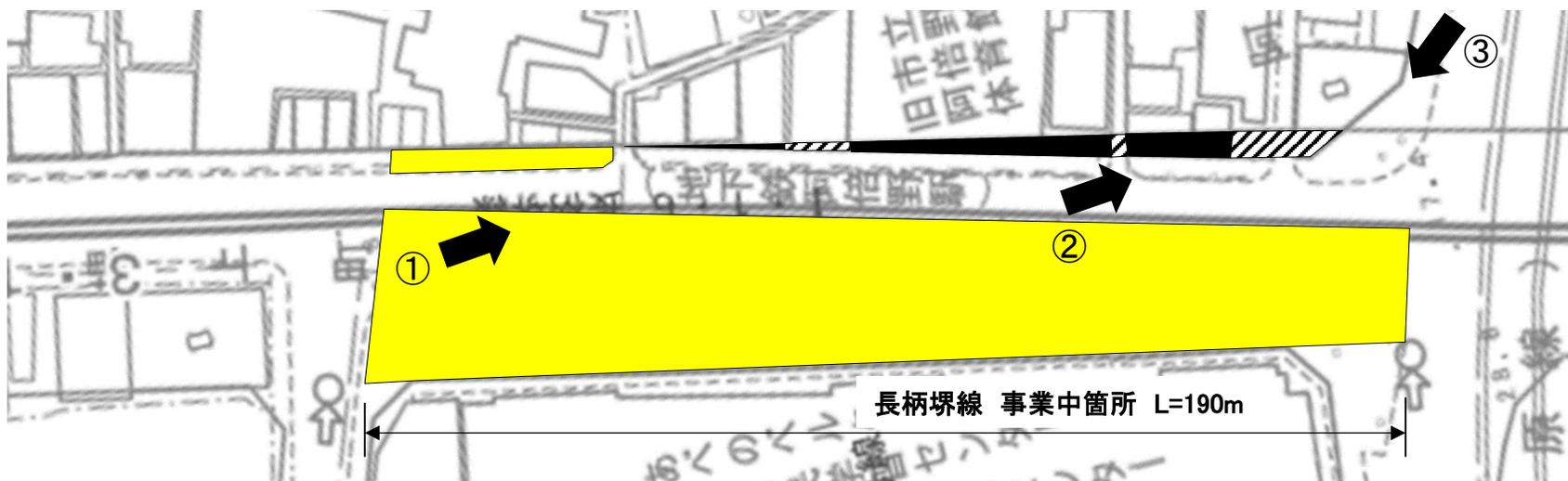
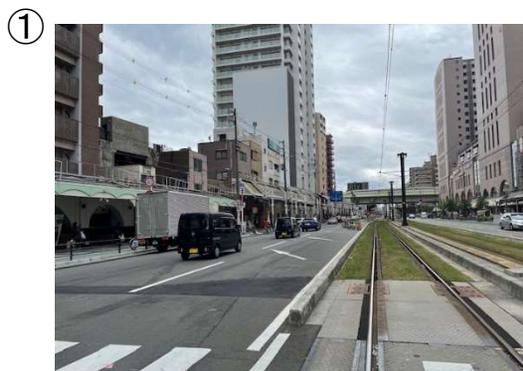


図一長柄堺線

注) 小数第二位を四捨五入しているため、合計値が合致しない場合がある。

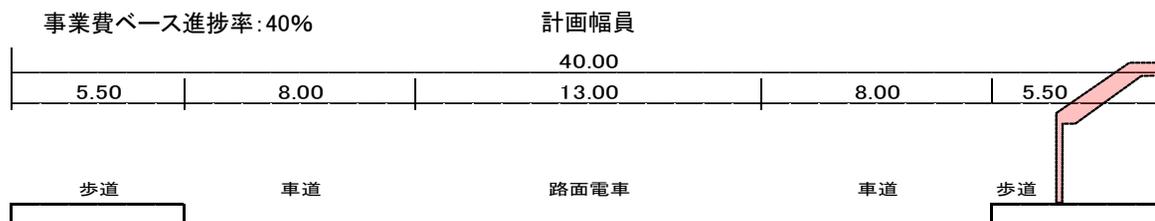
図3 進捗状況

(4 事業の実現見通しの視点 ②事業規模)



用地取得率:68%(面積ベース)
 工事進捗率:69%(面積ベース)

事業費ベース進捗率:40%



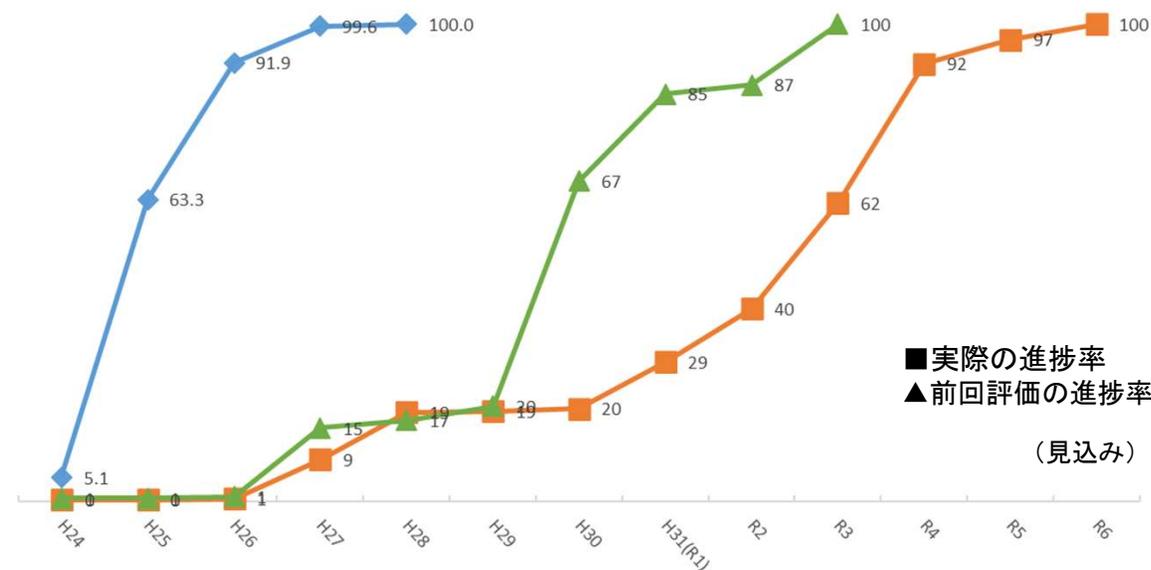
凡 例	
	用地取得済箇所
	整備済箇所
	施工中箇所

図4 進捗率の推移

(4 事業の実現見通しの視点 ③総事業費)

進捗率の推移(単位:%)

事業採択時の
想定進捗率



残事業の内容

- ・用地取得4件(129㎡)
- ・道路工事(延長59m、面積2,345㎡)
- ・残事業費約6億円

今後のスケジュール(見込み)

- ・令和6年度 事業完了予定

事業が遅延した原因とその状況

- ・財政状況が非常に厳しいため、事業中路線においては、選択と集中の観点から、重点的に投資を行う路線を選定し、事業を進めている。本路線は重点的に投資を行う路線に位置付けておらず予算の範囲内で着実に事業を実施するため、長期化していた。
- ・用地取得において、売買に難色を示されていることなどで、用地買収が難航し、事業が長期化していた。

対応と解消の目途及びその根拠

- ・重点的に予算を確保しながら、残る用地取得と道路整備を進め、令和6年度での事業完了をめざす。
- ・用地買収については、個別課題の解消に向け精力的に取り組むとともに、事業完了に向け計画的な取得を行う。